

科目名	児童文化演習 I				担当	吉澤 俊・大塚 美奈子・今井 香織		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	義務・高校等での教諭経験	
必修	保育士：選択必修				ナバリング	Y3201	DPとの関連	4
授業概要	自分自身のテーマを他の学生と共有しながら、様々な「表現」を活用した地域住民との長期的な協働プロジェクトを企画・運営し、その成果を授業終了時に皆で共有する。従来の「造形」「音楽」「演劇」等にとらわれない、多様な「表現」をもとにした「自分の得意」を生かす授業。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多様な属性と長期的に交流することにより、保育者として必要となる他者理解の視点や多様性への理解を育む</li> <li>・「表現」を活用した社会参画の方法について実践を通して学ぶ</li> <li>・地域との長期的な地域協働プロジェクトの企画・運営を通してファシリテーションスキルを学ぶ</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス	プロジェクトの意味、授業の方向性について学ぶ					
	2	テーマに向けた学び①	話し合い 調査 課題の共有					
	3	テーマに向けた学び②	チーム編成 テーマ設定 企画作りに向けた話し合い					
	4	テーマに向けた学び③	企画立案 フィールドワーク					
	5	プロジェクト①	学内外での活動 ドキュメンテーション 共有					
	6	プロジェクト②	同上					
	7	プロジェクト③	同上					
	8	プロジェクト④	同上					
	9	プロジェクト⑤	同上					
	10	中間発表	ドキュメンテーションをもとにした共有活動 意見交換					
	11	プロジェクト⑥	学内外での活動 ドキュメンテーション 共有					
	12	プロジェクト⑦	同上					
	13	プロジェクト⑧	自分なりの方法による発表に向けた企画・準備					
	14	発表	発表					
15	まとめ	振り返りと後期に向けた課題						
評価基準	プロジェクトに意欲的に取り組み、実践的な発想や創造力を駆使し活動を行っていたかを評価基準とする							
評価方法	授業への参加度、活動への意欲 60% 活動内容 40%							
フィードバック 方法	授業内および授業後の質疑応答、ドキュメンテーション							
アクティブ ラーニング	地域連携プロジェクトのファシリテーション、発表							
教科書	随時資料を配布							
参考書	随時資料を配布							
履修条件	長期にわたる地域との協働プロジェクトを自分達で創造し、これからの時代の保育者としてだけでなく社会人として必要なファシリテーションスキルを身につける。得意を生かしながら自分なりに発想し、意欲的に活動できることが履修条件である。従来の「表現」の枠には捉われない。							
授業外学習	学外での活動を積極的に行う							
オフィスアワー	掲示板等で確認すること							